

フィールドパートナー 自己紹介カード

「フィールドパートナー」とは フィールドワークパートナーの略称。

水俣・芦北地域のフィールドで、史実に基づいて解説し、来訪者とともに考察します。

社会課題を自由に考えることを妨げない案内を心がけています。 since2011

名 前/塩崎^{しおさき}乃^{のぶこ}婦子 出 身/水俣市

所 属/一般社団法人水俣・芦北の自然を守る会

特技や趣味/植物観察、映画鑑賞



なぜフィールドパートナーをされているのでしょうか

水俣で生まれて水俣で育ちました。幼い頃から見聞きしていたこと、そして水俣病を正しく理解してもらうためには、伝えていくことが必要だと思っています。市民の目線で、水俣病の教訓から学んだこと、環境破壊の実情と復元への取り組みや自然環境を守ることの重要性が伝えられたら良いなあ！と思いつけています。

あなたにとって、水俣の魅力はなんですか

海と山が近く、その両方に温泉が湧き、市内を横に2分するように水俣川が流れています。面積の70%以上をしめる山林には、豊かな自然林がまだまだ残っており、対岸に天草諸島を望む美しい景観があります。波穏やかな水俣湾は多くの命を育み、私たちの心性を和ませてくれます。

子どもたちや若者たちに何を伝えたいと思って案内していますか

自然環境を破壊しないこと。地球に住み続けるために、自分に何ができるかを考え、それを実行できるように考えること。また立場の弱い側に立って、物事を考え、行動する事を念頭に置けるようになることを願い案内しています。

若い人たちは、水俣から何を学んでほしいと思いますか

当時の水俣市民は、経験したことの無い事態に動揺し、事の本質を理解できないまま誤った行動をした人々もいました。企業、国、地方自治体は、それぞれ責任があるにもかかわらず責任逃れして、責任を果たすのに時間がかかりすぎました。誤った行動をした際、できるだけ早く失敗を訂正する勇気を持つことは、自分にとっても社会にとっても大切だと思います。

若い人たちには、社会で起こっていることを「他人事」と思わず、どういうことか理解するよう努め、まずは自分の考えを口に出し、ほかの人と話し合ってもらいたいと思います。そして、利他の豊かな心で行動へ移せるよう少しずつ努力されることを願っています。